平成 21 年 12 月 18 日

各位

会社名　　北日本紡績株式会社
代表者名　　代表取締役社長　　直山　秀人
（コード　3409　大証第２部）
問合せ先　　常務取締役　　大杉　幸正
（TEL．076－277－7531）

希望退職者の募集及び経営合理化に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり希望退職者の募集及び経営合理化施策の実施を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．仮撚事業からの撤退について

（１）　仮撚事業の撤退理由

当社は、昭和 39 年 5 月より仮撚事業を開始、主にスポーツ衣料用・自動車関係内装向けのポリエステル長繊維加工糸の製造を行っておりました。平成 14 年 11 月には、松任工場敷地内に仮撚工場を移設し、近年では衣料用のポリエステル長繊維加工糸の製造を行っております。しかしながら、国内景気の低迷、輸入糸及び二次製品の輸入定着による需要減少で厳しい環境が続いており、今後の見通しにつきましても、需要の回復は見込めず、受注数量を確保することが困難であるため、平成 22 年 3 月 31 日をもって仮撚事業から撤退することを決定いたしました。

（２）　仮撚工場の概要

所在地　　：　石川県白山市福留町 201 番 1
事業内容　：　衣料用ポリエステル長繊維加工糸の製造
売上高　　：　２億 15 百万円（平成 21 年 3 月期）

（３）　仮撚事業の撤退日程

平成 21 年 12 月 18 日　　取締役会決議
平成 22 年 3 月 31 日　　工場閉鎖予定

２．希望退職者の募集について

（１） 希望退職者の募集を行う理由

昨秋のサブプライムローン破綻による金融不安から世界経済が一変し、自動車産業の類を見ない生産調整、産業界の設備投資急減、消費急減から生産調整が一気に進展しました。

当社グループは、これら国内需要の急減と円高による輸入糸増加対策として本年1月に能登工場を閉鎖し、松任工場へ紡績事業の生産集約をいたしました。しかしながら、生産調整による受注不足は収まらず、受注工賃の改定、経費全般の削減、パート従業員の解雇、4月からは雇用調整助成金の申請などを行い業績回復に努めて参りましたが、十分な結果に至っておりません。

こうした状況の中、今後の受注状況を勘案した結果、徹底的なスリム化が必要不可欠であると判断し、早期の業績回復を図るため労使合意のもと下記のとおり希望退職者の募集を行うことを決定いたしました。

（２） 希望退職者募集の概要

対象者　　：　当社及び当社グループの全従業員
（平成21年12月18日現在のグループ従業員数105名）

募集人員　：　40名程度

募集期間　：　平成21年12月19日から平成21年12月25日まで

退職日　　：　平成22年1月17日

その他　　：　退職者に対し、会社都合による退職金に加え、特別加算金を上乗せして支給するとともに再就職支援を行う。

３．役員報酬の減額について

当社は、現在の業績低迷の状況を真摯に受け止めるとともに、その経営責任を明確にするため、また、より一層の固定費圧縮を図るため、役員報酬の減額を決定いたしました。

また、監査役より監査役報酬の自主返上の申し入れがありましたので、併せてお知らせいたします。

① 役員報酬の減額の内容

常勤取締役の月額報酬を約40%～約55%減額する。

② 監査役報酬の自主返上の内容

常勤監査役の月額報酬を約50%返上する。

③ 対象期間

平成22年2月より業績の回復見通しが立つまでの期間

４．今後の見通し

上記の希望退職者募集により、当期において特別退職金を特別損失として計上いたしますが、現時点では応募者数が未定でありますので、詳細が確定次第、速やかにお知らせいたします。

以上